



建交労鉄道

岩手地方本部

2026年1月16日
NO 197号
発行責任者
須藤清成

原発ゼロ
NO175
泊原発3号機の再稼働について

北海道電力が運転を再開しようとしている「泊原発3号機」は、2009年に動き始めましたが、2011年から止まっています。今年7月には新しい安全基準を満たしたとして国の審査に合格し、政府は8月に再稼働の同意を北海道や地

人間が健康に生きて行く為に185

驚きの水蒸気パワー

蒸し料理（『食べもの通信』より）

いま、セイロを使った蒸し料理が大ブーム！

セイロに食材を並べて蒸すだけという手軽さに加え、蒸した食材の甘味やうま味、ジューシーなおいしさに多くの人が感動しているのではないのでしょうか。

野菜をたっぷり手軽に食べられ、余計な油を使わずに済むのも嬉しいポイント。

これらの魅力は、「蒸す」という水蒸気を利用した加熱方法によるものです。

それを裏付ける興味深い実証も紹介します。

セイロがなくても、手持ちの鍋やフライパンで楽しめます。

今年はぜひ、蒸し料理を取り入れてみませんか？

蒸すってどういうこと？

100度のお湯の数倍のエネルギーで

食材をパワフルに加熱！

「蒸す」とは、水蒸気によって食材を加熱する調理方法ですが、他の調理法とどう違うのでしょうか？

1.水蒸気の対流によって熱が食品に伝わる

▶ 栄養やうま味の損失が少なく、しっかり仕上がる

2.熱伝導率が高い水蒸気で加熱する

▶ 「ゆでる」「煮る」よりも早く熱が伝わる

3.安定した熱が均一に伝わる

▶ 加熱ムラが起きにくく、煮崩れしにくい

蒸し料理のメリット

水蒸気パワーによるさまざまなメリット

おいしい

肉はやわらかくジューシー

芋類はしっとり

でんぷんの多い食材は甘くなる

体にやさしい

水溶性の成分が流出しにくい

油の摂取量を控えられる

老化物質AGE（終末糖化産物）が増えにくい

※「生」「ゆでる」「煮る」も、老化物質を増やしにくい調理法です。

謹賀新年

あけましておめでとーございます。組合員の皆さまにおかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

2026年は、国際情勢を改めて見つめ直す節目の年でもあります。たとえば、トランプ前米大統領によるベネズエラへの一方的な制裁や介入は、国際法の原則を揺るがす行為として、世界中で大きな議論を呼びました。こうした動きは、戦後私たちが築いてきた平和と国際協調の価値を、いま一度問い直すきっかけとなっています。

私たちは、憲法9条の精神を守り、対話と協調を重んじる平和国家としての歩みを、これからも力強く進めていかなければなりません。

その一方で、軍事費の拡大が進められ、暮らしに必要な予算が削られようとしています。税金を上げることなく、軍事費を増やすのではなく、教育・福祉・労働者の生活を支える施策にこそ力を注ぐべきです。

2026年春闘では、物価高に似合う賃上げ「すべての働く人に時給1,500円以上を」という声を掲げ、誰もが安心して暮らせる社会の実現を目指します。物価高騰が続く中、実質賃金の回復と生活の安定は待ったなしの課題です。一握りの富裕層のためではなく、すべての人が尊厳をもって生きられる社会をつくるために、私たちは団結して声を上げていきたいと思います。

また、政治の分野では、議員定数削減の動きが進められていますが、これは民主主義の根幹を揺るがすものであり、国民の多様な声を封じることにつながります。政治の透明性と公正さを守るためにも、私たち一人ひとりが関心を持ち、行動することが求められています。

今年も、すべての仲間が思いやりを持ち、支え合いながら、平和で公正な社会を築いていけるよう、共に歩んでまいりましょう。

皆さまの「健康と」多幸を心よりお祈り申し上げ、新年の「挨拶」といたします。

執行委員長 須藤清成

執行委員一同

お知らせ

建交労岩手県本部春闘討論集会・旗開き

旗開き

日時 2026年 1月17日（土）

午後6時30分～

場所 個室肉バル

CAYA 盛岡大通り店

春闘討論集会

日時 2023年 1月18日（日）

午前10時～12時

会場 アイーナ 806号室

＊執行委員会 9時からアイーナ

第27回 地本代表者会議

日時 2月11日 13時30分

場所 東十条ふれあい会館2階

議題 2026国民春闘方針案

建交労中央行動

3月5日 要請行動等

26春闘全国統一行動

3月12日

2026年3月ダイヤ改正に向け 組合が申し入れ

輸送力強化に期待も、要員不足や構造的課題に懸念

― 組合が8項目の具体的要求を提示 ―

■ ダイヤ改正は「中期経営計画2026」の要

貨物会社は12月11日、2026年3月に実施予定のダイヤ改正について労働組合に提案・説明を行った。今回の改正は中期経営計画2026の最終年度にあたり、

物流の2024年間では厳しい内容と受ける。トラルへの対応など、社会的要請に依る重要な節目と位置づけられている。

■ 組合「改正効果は限定的」

組合側は、コンテナ列車の新設による中・長距離輸送の強化や速達化の方針を評価しつつも、曜日運休の拡大や車扱列車の削減など、マイナス面も多く、全体とし

■ 要員不足が安全輸送の懸念材料に

特に運転士をはじめとする要員不足は深刻で、安全・安定輸送に支障をきたしかねない状況にある。

組合は、要員確保を最重要課題と位置づけ、2026年度の新規運転士養成計画や、支社別の採用・退職状況の明示を求めた。

■ 組合が提示した8つの要求項目

組合は、以下の8項目について具体的な説明と文書での回答を求めた。

改正効果の明示…プラス・マイナス両面の

具体的な影響

要員計画の開示…採用・退職者数や運転士養成計画の明示

輸送目標の提示…積載率とコンテナ輸送トンキロ目標（KGI）

2024年問題への対応策…貨物鉄道の社会的役割の具体化

輸送機材の導入計画…2026年度の新規投入予定

人員配置の見直し…予備率やシニア社員

災害時のBCP対策…官民連携の進捗と国との協議状況

組合は、これらの8項目について具体的な説明と文書での回答を求めた。



高市政権の本質に迫る

作並で建交労東北協議会開催 小野寺義象氏が講演

12月21日、作並にて建交労東北協議会が開催され、弁護士の小野寺義象氏が「高市政権をどうみるか」と題して講演を行った。

小野寺氏は、高市政権について「安倍政権の後継者であり、戦前の軍国主義を想起させる側面がある」と指摘。さらに、自

民党と日本維新の会による連立の動きに

ぶったまげだ！

こんなすごい女性いたなんて。12月、家族に内緒で1週間ほど毎日会った。

彼女から聞いた

とこによれば、彼女は幼いころ、空気の他になにもないはずの空から、とめどなく水が降っ

てくるのが不思議だった。その雨への疑問から、科学者への道を進んだ。女性初の日本学

も触れ、「ファシズムの温床となる危険性がある」と警鐘を鳴らした。

また、政権の発言として「存立危機事態になり得る」「そんなことより、定数削減をしましょう」といった言葉を挙げ、「倫理と責任の欠如が見られる」と厳しく批判した。

高市政権に対する高い支持率については、「政権の実態と世論の支持との間にはギャップがあり、それは国

術会議会員など、女性科学者の先駆けであり、後進の支援にも尽力したようだ。

さらに感動したのは国際会議での

つばやき 刺激的な密会

演説。彼女は「核兵器とそれのモたらず災害について、誰によりよく理解しているのは我々科学者であり、科学

民の知識不足やマスコミ報道の偏りが影響している」と分析。「国民一人ひとりが

地域とともに歩む労働運動の現状と課題 東北6県代表者総会より

講演後、総会が開催され、東北6県から代表者14名が参加した。

労働部会…労災・職業病の取り組み

労災・職業病無料相談会において22名から電話相談が寄せられたとの報告があった。

トンネルじん肺根

者には等しくそれを全人類に伝える義務があります。

科学者のもつとも尊い職務は今や、人類の幸福と平和に貢献すること

あり、科学者を人間の殺戮と文明の破壊に使わせないことなのです」と訴えたそう。核実験による海洋汚

絶訴の進展

第8陣の起訴が来る可能性があるとの見通しが示された。

ダンブ部会…使用促進闘争の成果と課題

使用促進闘争において、無所属ダンブ労働者の単価および労働条件の改善に取

染を低く評価し核開発をすすめるようとするアメリカに単身乗り込み、放射能の分析勝負も行った。ハンディを押しのけ見事に勝った。どんなに権威ある科学者や大

国にもものを言い平和を希求し続けた。そんなことを語ってくれた彼女の名は猿橋勝子さん。

引き合わせてくれたのは作家の伊与



自家用車ダンブ排除への対応強化

また、東北各地で自家用車ダンブの排除を求める動きが強まっていることに対し、組合としても打開に向けた運動の強化を進めている。

高齢者・事業団部会…地域に根ざした支援活動

高齢化が進む中での就労支援や生活支援の取り組みが報告され、引き続き地域に根ざした活動の重要性が確認された。

学童部会…子ども

の安全と指導員の処遇改善

子どもたちの安全確保や学習環境の整備に関する課題に加え、指導員の労働条件、人手不足や低賃金といった問題が指摘された。

環境部会…持続可能な地域づくりに向けて

地域における環境保全活動の現状と課題が報告され、持続可能な地域づくりに向けた取り組みの推進が提起された。

鉄道部会…ダイヤ改正への評価と要請

ダイヤ改正については、輸送強化

いのち NO. 74 蛙の独り言 井上駿

私が住んでいるのはさいたま市大宮区そのすぐ南隣は川口市、川を渡れば東京都その川口に住むクルド人2000人とかこの人たちを追い出そうとするヘイト族クルド人は固有の文化を持つが国を持たないトルコの政府は彼らに思想・宗教を強制する反対するクルド人をテロリストとして弾圧國に帰れば投獄・処刑も戦前日本が朝鮮半島でしてきたことと同じ戦前の日本を反省し彼らを受け入れてこ民族の対等を尊び平和を守る国と言える

構造的課題への対応

応…第二種鉄道事業者」としての課題解決策

■ 誠意ある団体交渉と文書回答を要

組合は、これらの課題について引き続き団体交渉の場で議論を深めるとともに、貨物会社に対し誠意ある対応と文書での

の方針を評価しつつも、曜日運休の拡大や車扱列車の削減などを問題視し、全体として厳しい内容を受け止めた。改正効果や要員計画、輸送目標など8項目について、文書回答と誠意ある団交を求めた。

組織の縮小傾向と拡大の課題

さらに、各部会からの発言では、組織の縮小傾向が深刻な課題として共有され、今後の活動の継続と発展を図るためにも、組織拡大の必要性が強く訴えられた。

2026年度の運動方針案

業種ごとの運動を基本に、各県本部や支部の幹部を対象とした学習交流会を2026年夏に宮城県内で実施する予定。

東北の中で高い到達点を築いている県本部や支部の運動に迫りつつ努力を積み重ねます。

建交労の組織がある企業を中心に、情報交換や協力体制を固り組織拡大に取り組みます。

青年部・女性部の活動強化を推進します。